

V65a 美星スペースガードセンターの観測システムの状況

浅見敦夫、David Asher、橋本就安、磯部しゅう三、西山広太、大島良明、寺園淳也、浦田武、吉川真（日本スペースガード協会）、横田孝夫（日本宇宙フォーラム）、James Mulherein（Torus Engineering Ltd.）

美星スペースガードセンターには、口径0.5mと1.0mの2台の広視野望遠鏡が設置されることになっている。1.0m望遠鏡は、目下工場内で組み立て試験中で、7月頃に現地に設置され、テスト観測が始まる。0.5m望遠鏡は、2000年1月に設置された。当初は、Apogee-10 2k × 2k CCDカメラでの観測がなされ、12月にSiteの2k × 4k 2枚のモザイク CCDカメラの観測が始まった。F比が1.95と小さいので、良い星像を得るためには、微妙な光軸調整が必要であった。現在、FWHMで6"あまりで、星像が2 × 2ピクセルに落ち、比較的良い位置決定を行えている。NEO やスペースデブリの観測と平行して、種々のテストを進めているところで、それらの結果を発表する。